

和歌山病院での実習を終えて



中 美咲

この度、5/9-5/10の二日間に渡り、呼吸器内科の実習の一環として国立病院機構和歌山病院で実習をさせていただきました。和歌山病院は、和歌山県内で唯一、結核の入院病床がある病院であるため、実際に結核病棟の陰圧ルームやフロアなどの施設設備を見学させて頂いたり、結核患者さんとお会いし服薬の様子を見せて頂いたり、医大では出来ない経験と学習をさせて頂くことができました。教科書では習っていた感染予防対策も、実際に現場を目の前にするとこれで十分なのかと心配になったりしましたが、結核の感染の仕方とそれに対する予防を理論的にしっかり副院長先生から教えて頂いたことで、納得して感染予防をすることができました。さらに、私自身課題であった胸部レントゲンの読影に関して、院長先生が分かりやすく丁寧に教えて下さったことで、レントゲン写真に対する苦手意識が軽減し、これから深く学んでいく手がかりとなりました。また、約半年に一回行われているというロマンシティでの健康フェアにも参加させていただきました。地域の方たちが大勢参加されて身長体重から骨密度、血管年齢の測定など様々な測定をし、それに基づき医療関係者からアドバイスを受けておられました。地域の方々の疾病予防と健康への意識向上の助けになるととても良い場だと感じました。

最後になりますが、2日間という短い期間ですが、非常に密度の濃い充実した実習をさせていただきました。しっかり復習し、これからの糧にしていきたいと思っております。お世話になった先生方、スタッフの皆様、貴重な機会を下さいましたこと深く感謝申し上げます。